

基本情報

需要家	株式会社シー・アイ・シー
事業の実施場所	山口県山口市
施設の名称 (需要家の法人名+建物の名称)	株式会社シー・アイ・シー ヤマダ西日本リースセンター山口工場
太陽光発電設備の導入方法	自己所有
導入設備	太陽光発電設備：363.32kW (太陽光パネルの出力) 333.30kW (PCSの定格出力) 定置用蓄電池：193.50kWh (蓄電容量)
稼働開始時期	2026年1月から発電開始
総事業費(税抜)	72,400,000円
平均の年間CO ₂ 削減率(削減量)	61.70% (119.46t-CO ₂ /年)

事業目的・概要等

ヤマダホールディングスグループ(株式会社シー・アイ・シー)は、グループ環境方針「地球環境との共存」が持続的な社会・経済の発展につながるという考えのもと、事業活動全体を通じた環境課題の解決に向け、循環型社会の構築や地球環境に配慮した保全活動を推進することで、持続可能な社会の実現に努めています。

本事業は、この環境方針の一環として自家消費型太陽光発電設備を導入し工場全体の使用電力約33%を再生可能エネルギーに切替、これにより年間119.46t-CO₂削減によるカーボンニュートラル達成に貢献する事、また環境負荷低減に寄与し持続可能な社会形成につながる事を目的とした。

特に大型の蓄電池を導入し、充放電制御を設定値に合わせて細かく行うことで、電力消費量の削減に寄与するものとした。

今後の再エネ導入に向けた取り組み

株式会社シー・アイ・シー(ヤマダホールディングスグループ)はさらなる再生可能エネルギーの導入を検討し自家消費率向上を目指して参ります。

まずは本事業の取組を発信する事を目的とし太陽光発電設備導入についてヤマダホールディングスとして報道関係者にプレスリリースやリユース工場では電気使用量・発電量・CO₂削減量などの見える化に取り組み工場見学者に発信。又、ヤマダホールディングスとして統合報告書にてグループのCO₂排出量(スコープ1,2)の削減、再生可能エネルギー使用率など目標を設定し実績を公表。

今後も積極的に脱炭素社会に向けた取組を実施し地球環境保全に努めて参ります。

導入施設の外観



主な導入設備



太陽光パネル



パワーコンディショナー



定置用蓄電池